

2024年度 第6回 ゲノム・プロテオーム解析部門 機器セミナー ナノフローUHPLC/四重極飛行時間型質量分析システム LCMS-9050(Shimadzu)・Vanquish Neo UHPLC(ThermoFisher) の活用

CFP-OU管理番号:DGP_12, 13

- ◆ **会場:** 岡山大学 理学部本館 1階 大会議室 (B122)
* 本セミナーはオンラインとのハイブリッド開催になります
- ◆ **日時:** 2月19日(水) 14:00~15:20
- ◆ **内容:**
 - ・ 島津製作所 分析計測事業部
飯田 哲生 様・新苗 智也 様
LCMS-9050の概要
プロテオーム解析(ナノフローUHPLC)
メタボローム解析
マルチオミックス解析パッケージとの連携
 - ・ ゲノム・プロテオーム解析部門
豊富なオミックス解析ソフトウェアの紹介と申し込み・
利用方法の説明

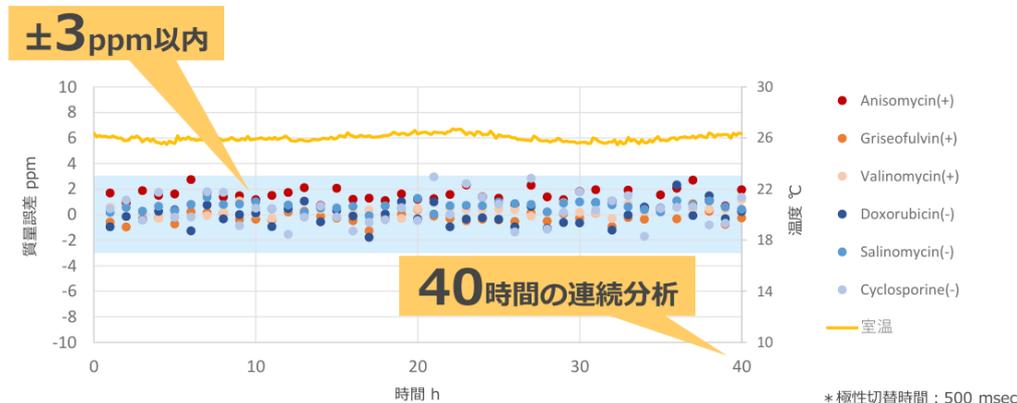
<ナノフローUHPLC/四重極飛行時間型質量分析システムの特徴>

- ・ Trusted mass accuracy (安定した質量精度)
- ・ Ultra-stable polarity switching (正負極性切替と質量精度の両立)
- ・ LabSolutions Insight Explore™ (定性解析から定量解析までをサポートするソフト)
- ・ 最高1,500 barの圧力でナノから100 μL/minまでの流量において優れた保持時間精度を実現

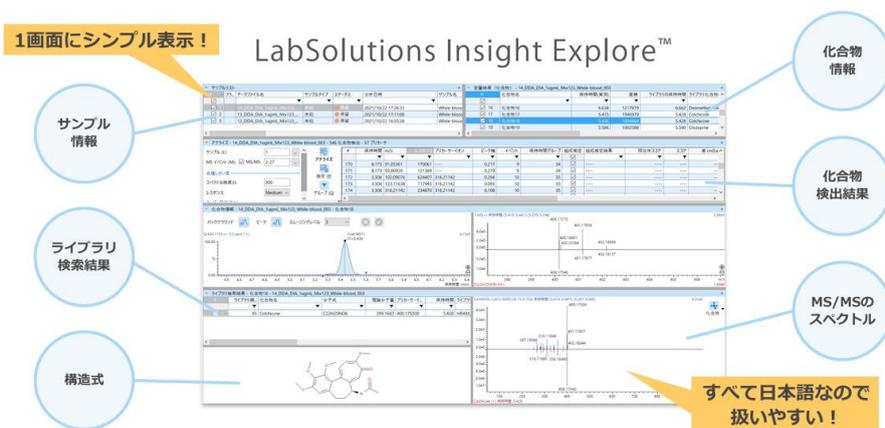
■ 申込方法 ■

2/14(金) までに、裏面のお問合せ先までメールにてお申込み下さい。
2025年1月に導入された最新機器になりますので、ご興味がありましたら、
ぜひ奮ってご参加ください。

●ポジネガ同時測定でも“安定した質量精度”



●直観的に扱える解析ソフトウェア“Labsolutions Insight Explore™”



●マルチオミクス解析パッケージ

●化合物の量的変化を代謝マップ上に簡単な操作で可視化!

測定データのグラフ化や代謝マップへの投影の作業を大幅に削減します。

●統計解析により有意な化合物を簡単な操作で抽出!

2群比較のボルケーノプロット、多群比較の主成分分析(PCA)、階層的クラスタリング(HCA)、箱ひげ図(Boxplot)を簡単に使うことができます。PCA、HCA、Boxplotは同一画面上で連動し簡単に有意な化合物を抽出できます。さらに抽出された化合物が代謝マップのどこにあるか拡大表示できますので、確認とデータ解釈をサポートします。



<お問合せ先>

ゲノム・プロテオーム解析部門 管理室

Tel: 086-251-7261 e-mail: dgp@okayama-u.ac.jp